

「金融商品に関するお客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）基本方針」

亀有信用金庫は、当金庫の基本方針のひとつである「中小企業、家庭並びに地域社会の繁栄に奉仕する」に基づき、資産形成・運用におけるお客さま本位の業務運営の定着を図るため、「金融商品に関するお客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）基本方針」を策定しましたので公表いたします。

また、この基本方針については、お客さまに一層の価値ある金融サービスを提供するために定期的な見直しを行ってまいります。

1. 当金庫は、お客さまの幅広いニーズにお応えする商品およびサービスを提供し、お客さまにとって最善の利益を追求します。

＜アクションプラン＞

- ・ お客さまの利益を最優先に考え、ニーズにあった最適な商品・サービスを提案するよう努めてまいります。

2. 当金庫は、利益相反のおそれのある取引によってお客さまの利益が不当に害されることのないよう、お客さまの利益保護に努め、利益相反の管理を徹底します。

＜アクションプラン＞

- ・ 商品を販売する際は、手数料の多寡等による特定の商品の推奨などは行わず、お客さまの意向・ニーズに合った商品を提案いたします。

3. 当金庫は、商品やサービスに係る重要な情報や手数料については、お客さまのご理解を深めていただけるように、わかりやすく丁寧な説明をいたします。

＜アクションプラン＞

- ・ お客さまに提案する商品の特性、リスク、手数料等の重要な情報については、適切な資料等に基づき、十分な時間をかけて、わかりやすく丁寧に説明いたします。

4. 当金庫は、お客さまの資産状況、取引経験、知識および取引目的・ニーズを適切に把握し、一人ひとりにふさわしい商品・サービスを提供してまいります。

＜アクションプラン＞

- ・ お客さまの多様なニーズにお応えし、かつ偏った商品案内とならないよう適切な商品ラインナップの整備に努めてまいります。

5. 当金庫は、お客さま本位の業務運営のために、お客さまとの公正な取引を目的とした研修等と、その動機付けとなる適切な業績評価を行います。

＜アクションプラン＞

- ・ 職員がお客さまのニーズにあった最適な商品・サービスを提案していくため、各種法令・業務知識習得のための職員研修の実施や資格取得の推奨等により、人材の育成に努めてまいります。
- ・ お客さまの長期的・安定的な資産形成に資するための業務遂行を目指し、適切な業績評価方法の整備により、職員への動機付けに努めてまいります。

以上

平成 29 年 9 月 29 日制定

「金融商品に関するお客さま本位の業務運営基本方針」に係る取組み状況

「金融商品に関するお客さま本位の業務運営方針」の基本指針に基づき、以下の取組みを行ってまいります。また定期的に取組み方針を見直すとともに、実施状況を公表してまいります。

1. 商品ラインナップ

(1) 投資信託ラインナップ

| | 28年 3月末 | 29年 3月末 | 30年 3月末 |
|---------|------------|------------|------------|
| 国内 | 7 | 5 | 7 |
| 株式 | 4 | 2 | 4 |
| 債券 | 1 | 1 | 1 |
| REIT | 2 | 2 | 2 |
| 海外 | 9 | 8 | 10 |
| 株式 | 2 | 2 | 4 |
| 債券 | 6 | 5 | 5 |
| REIT | 1 | 1 | 1 |
| 資産複合 | — | 1 | 1 |
| 合計 | 16 | 14 | 18 |
| うちノーロード | 3 | 2 | 6 |

(2) 保険商品ラインナップ

<生命保険>

| | 28年 3月末 | 29年 3月末 | 30年 3月末 |
|-----------|------------|------------|------------|
| 円建 | | | |
| 一時払 | 2 | 3 | 4 |
| 年金 | 1 | 1 | 1 |
| 終身 | 1 | 2 | 3 |
| 平準払 | 7 | 8 | 8 |
| 年金 | 1 | 1 | 1 |
| 終身 | 1 | 1 | 1 |
| 医療・がん | 5 | 6 | 6 |
| 収入保障 | 0 | 0 | 1 |
| 外貨建 | | | |
| 一時払 | 2 | 2 | 4 |
| 年金 | 1 | 1 | 1 |
| 終身 | 1 | 1 | 3 |
| 合計 | 11 | 13 | 16 |
| うち販売休止商品数 | 0 | 4 | 3 |

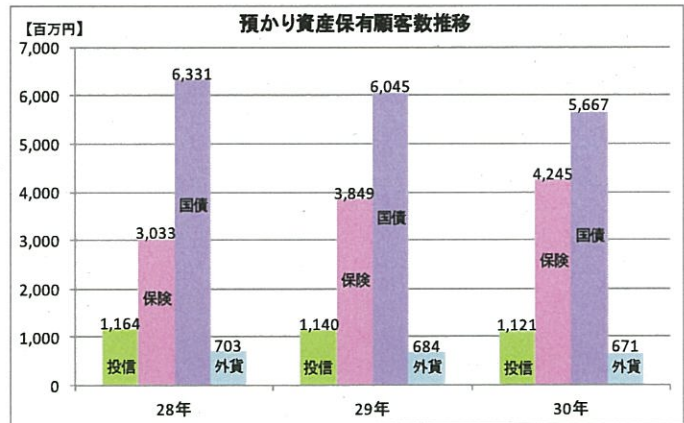
<損害保険>

| | 28年 3月末 | 29年 3月末 | 30年 3月末 |
|---------|------------|------------|------------|
| 火災保険 | 1 | 1 | 1 |
| 傷害保険 | 1 | 1 | 1 |
| 事業性損害保険 | 26 | 26 | 2 |
| 合計 | 28 | 28 | 4 |

2. 預かり資産保有顧客数

| | 28年 3月末 | 29年 3月末 | 30年 3月末 |
|-------------|------------|------------|------------|
| 投資信託 | 1,164 | 1,140 | 1,121 |
| 内、定時定額 | 170 | 204 | 259 |
| 内、つみたてNISA | — | — | 17 |
| 生命保険(一時払) | 3,033 | 3,849 | 4,245 |
| 国債(個人向け・利付) | 6,331 | 6,045 | 5,667 |
| 外貨預金 | 703 | 684 | 671 |

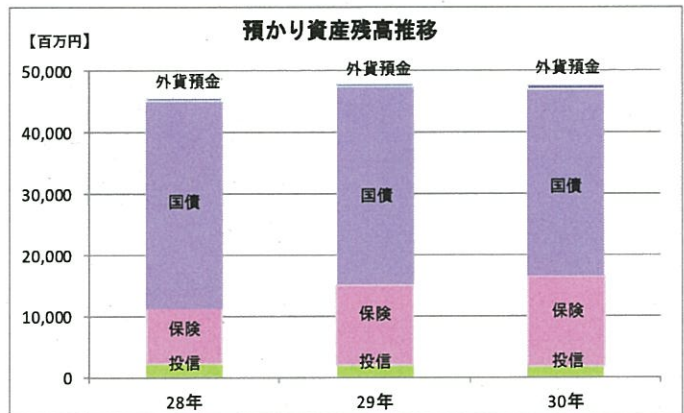
※顧客数はカテゴリ(投信・保険・国債・外貨預金)毎の名寄せ数



3. 預かり資産残高

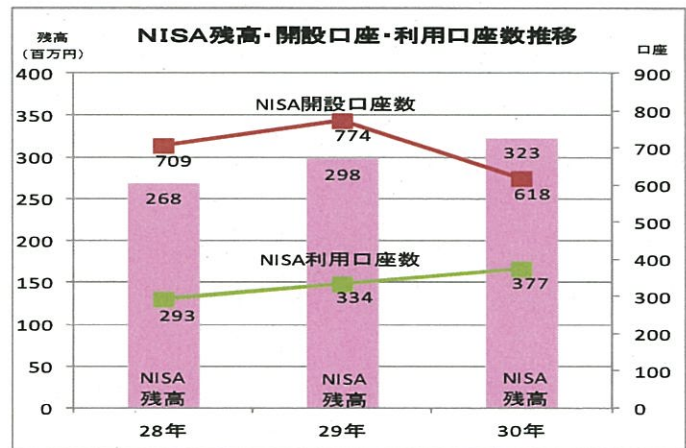
| | 28年 3月末 | 29年 3月末 | 30年 3月末 |
|-------------|------------|------------|------------|
| 投資信託 | 2,191 | 2,084 | 1,881 |
| 生命保険(一時払) | 9,092 | 13,020 | 14,617 |
| 国債(個人向け・利付) | 33,812 | 32,331 | 30,558 |
| 外貨預金 | 542 | 539 | 509 |
| 合計 | 45,637 | 47,974 | 47,565 |

(百万円)



4. NISA残高・口座開設・利用口座数

| | 28年 3月末 | 29年 3月末 | 30年 3月末 |
|---------------|------------|------------|------------|
| NISA口座開設数 (件) | 709 | 774 | 618 |
| NISA利用口座数 (件) | 293 | 334 | 377 |
| NISA残高 (百万円) | 268 | 298 | 323 |



5. FP(3級以上)資格者数

| | 28年 3月末 | 29年 3月末 | 30年 3月末 |
|--------------|------------|------------|------------|
| FP(3級以上)資格者数 | 234 | 239 | 247 |

(人)

